

# 令和6年度 第1回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和6年4月24日（水）午後6時30分～午後7時30分

会場：墨田区役所13階131会議室

## 次第

- 1 開会
- 2 副区長あいさつ
- 3 区からの諮問
- 4 委員紹介
- 5 議題
  - (1) 令和6年度の子ども・子育て会議の議題及び進め方について（資料2・3・4）
- 6 報告事項
  - (1) 「みんなであそぼう！こどもわくわくフェスティバル」について（資料5・6）
  - (2) 令和6年度子育て支援活動助成事業について（資料7）
- 7 事務連絡
  - (1) 次回開催予定  
令和6年8月21日（水）午後6時30分から  
墨田区役所13階131会議室
- 8 閉会

## 配布資料

- |     |  |
|-----|--|
| 資料1 | 墨田区子ども・子育て会議委員名簿                         |
| 資料2 | 令和6年度の子ども・子育て会議の議題について                   |
| 資料3 | （仮称）墨田区こども計画（墨田区子ども・子育て支援総合計画）策定の進め方について |
| 資料4 | 令和6年度墨田区子ども・子育て会議のスケジュール（予定）             |
| 資料5 | 「みんなであそぼう！こどもわくわくフェスティバル」チラシ             |
| 資料6 | 「みんなであそぼう！こどもわくわくフェスティバル」会場レイアウト図        |
| 資料7 | 令和5年度子育て支援活動助成事業チラシ                      |

## 出席者（敬称略）

### ○委員

西村 孝幸（小梅保育園長）  
西島 由美（にしじま小児科院長）  
野原 健治（社会福祉法人興望館理事長）  
浅見 佳子（相模女子大学准教授）  
古屋 真（駒沢女子短期大学教授）  
八重田 裕一郎（墨田児童会館館長）  
東 百代（本所白百合幼稚園長）  
星野 操（文花子育てひろば施設長）  
土屋 恵子（主任児童委員）  
末田 豪（立花吾孀の森小学校PTA会長）  
平林 秀敏（墨田中学校PTA会長）  
徳原 広美（株式会社コーリン堀川取締役保育事業担当）  
賀川 祐二（NPO法人病児保育を作る会代表理事）  
高田 宏美（キャリア保育園東向島施設長）  
真鍋 文朗（区民公募委員）  
三井田 香奈（区民公募委員）  
本谷 友実（区民公募委員）  
金澤 里美（八広幼稚園長）  
国分 幸美（太平保育園長）

### <欠席委員>

尾口 優子（青少年委員協議会委員）  
山口 仁美（両中地区青少年育成委員会委員長）  
眞能 貴代（区民公募委員）  
横山 竜也（区民公募委員）  
浮津 あゆみ（緑小学校長）  
吉岡 大司（桜堤中学校長）

### <傍聴者>

0名

### ○事務局出席者

酒井 敏春（子ども・子育て支援部長）、岩瀬 均（教育委員会事務局次長）、石岡 克己（子育て支援課長）、秋山 和栄（子育て政策課長）、細谷 勇治（子ども施設課長）、野澤 典子（子育て支援総合センター館長）、梅原 和恵（副参事（子ども・家庭支援連携担当））、中尾 清美（福祉保健部副参事（相談支援担当））、大八木 努（地域教育支援課長）

## 議事概要

- 1 開会
- 2 副区長挨拶
- 3 区からの諮問
- 4 委員紹介
- 5 議題

・令和6年度の子ども・子育て会議の議題及び進め方について

- (1) 令和6年度の子ども・子育て会議の議題及び進め方について／自己紹介を兼ねた感想・意気込みなど

事務局	(資料に基づいて説明)
委員	・ 保育園を取り巻く環境が大きく変わっている。 ・ 保護者のニーズの変化も踏まえながら、これからの墨田区の乳幼児に関する議論ができればと思う。
委員	・ 医師会代表として、現場で子どもや保護者と関わっている視点で意見を述べたい。 ・ 多子世帯だけでなく、孤立世帯についても触れていただきたい。一人めのお子さんをお持ちの方には、SOSを出せず孤立している方もいる。
委員	・ この会議に長く携わっているが、この会議の重要性を感じている。 ・ 委員の提案がどのように計画に盛り込まれていくか楽しみである。
委員	・ 「こどもまんなか」「こどもの声を聞く」ということを世の中でよく聞くが、いかに難しいか、日々問い続けている。 ・ この会議の中で、委員皆の意見を聞き、学びながら、墨田区の子育てに関わっていったらと思う。
委員	・ 心理学や教育学を専門としているので、微力ながら計画の策定の役に立てればと思う。 ・ 心理学という学問はネガティブなことを扱うことが多く、マイナスをゼロにする学問だと揶揄されることも多い。 ・ 墨田区の子どもたちが墨田区をもっと好きになれるような、ポジティブな計画にできればと思う。
委員	・ 現場の諸問題、学童の待機児童、児童館の問題、そして良い部分も計画に盛り込み、現場の意見が反映されるよう議論できればと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・墨田区の私立幼稚園8園いずれも園児が減っている。</li> <li>・各園がそれぞれの教育理念を大切に、選んでくれる保護者の方々と一緒に子育てすることを大切にしている。</li> <li>・分からないことも多いので、学びながら一緒に考えていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両国と文花の2か所に子育てひろばがある。</li> <li>・何時間も保護者がひろばにいたので、本音を聞ける。その声をこの会議で反映していくことが役目だと思う。</li> <li>・土曜日の一時預かり利用のほとんどが保育園利用の方であり、平日働きながら子育てしている、休みがない保護者のニーズが多い。</li> <li>・日々に精一杯な保護者の方々にリフレッシュしてほしい。ただ、月曜から金曜まで保育園、そして土曜は別のところに預けられる子どもに対する複雑な気持ちもあり、そういった現場の声も届けていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれも育ちも墨田区である。</li> <li>・町会ごとに民生児童委員がいるため、地域的心声をこの会に反映できればと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から本会議に参加し、とても勉強になっている。</li> <li>・墨田区は25校の小学校があるので、各学校の意見をこちらで活かしていければと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の子どもや保護者の声を反映できればと思う。</li> <li>・子どもの貧困について、居場所づくりや孤立させないための地域福祉の視点も大事になってくる。</li> <li>・地域の方々との意見交換をしているのでその声も反映していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・墨田区の認証保育所は6園で、子どもが少ない状況である。</li> <li>・認証なので保護者が働いていなくても預けられるという環境を活かし、地域の子育てに役立てるよう努力していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ調査の結果では、子育て支援ネット Hug は約6割の方に知ってもらっている。様々な民間事業者が家事育児支援のサービスを行っている。</li> <li>・こどもまんなかということで、子どもの特徴や良いところをより伸ばす取組や、家族の生活など、親の幸せが子どもの幸せにつながると思うので、計画には保護者の声も反映していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模保育施設で0歳～2歳児を預かっているが、3年前から定員割れしている。</li> <li>・一番大事なことは、目の前にいる子どもの保育をしっかりすること、保護者に寄り添った支援をしていくことである。</li> <li>・小規模保育のたくさんの課題に取り組むうえで、この会議のみなさまの声も参考にしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども計画の策定ということで、子どもの環境がどんどん良くなるというワクワクがある。</li> </ul>

	・墨田区で子育てをしているので、その立場から計画を作っていきたい。
委員	・発達障害の息子を育てていて、墨田区発達障害の子どもを持つ親の会を立ち上げている。 ・一人の親として、レアタイプの子を育てる親として、何かできればと思う。
委員	・墨田区で子育てをしている。上の子は小学1年生、下の子が年少である。 ・わたし自身“小1の壁”にあたっているので、子育ての生活の視点から、墨田区で子育てしている親の立場から、意見を述べさせてもらっている。 ・墨田区で、よりよい環境で子育てできるようになればと思う。
委員	・区立幼稚園は6園あるが、令和元年の保育の無償化以降、園児数は減少していて厳しい状況である。 ・区立幼稚園の保育時間について、その時間帯では働けない等の保護者の声を聞いている。 ・いまの子どもたちが大人になることを想像して、この計画をつくっていくことになると思う。 ・保護者が子育てしながら精一杯になるのがよくわかる。こどもまんなかというが、子どもが決められず大人が決めている現状があり、そこを何かできればと思う。
委員	・公立保育園の現状も日々変わっている。目まぐるしい変化の中で、墨田区の子どもたちのために前進していければと思い参加している。
委員	・計画策定にあたって、墨田らしさ、地域特性も踏まえて、課題も含め、議論して計画を作っていきたいと思う。

## 6 報告事項

### (1) 「みんなであそぼう！こどもワクワクフェスティバル」について

事務局	(資料に基づいて説明)
委員	・動線はどうなるのか。以前のイベントでは、飲食等の出店で行列ができ、人が通れないことがあった。
事務局	・動線の確保、整列の人員、駐輪場の案内の人員など安全確保も含めて計画している。警備計画も含めて考えている。 ・ボランティアの方も含めて安全確保をしていきたいと思う。
委員	・今回は墨田区と子ども・子育て会議の共催ということなので、委員のみなさまも周知など色々な形で協力いただければと思う。

### (2) 令和6年度子育て支援活動助成事業について

事務局	(資料に基づいて説明)
委員	・委員のみなさまのお近くで活動されている方がいらっしゃれば、お声掛けいただければと思う。

7 事務連絡

業務連絡／次回開催について

8 閉会

以上